

第40回修習技術者支援セミナー 実施報告【香川】

R2.2.8

1. 実施概要

日時：R2年2月8日（土）14：00～17：00
会場：復建調査設計株式会社四国支社 4F 会議室
参加者：20名
（会員10名、修習技術者5名、合格者5名）
※18:00より懇親会を実施した（15名参加）



会場の様子

2. 講義①「技術士試験と修習のあり方について」

講演時間：14：00～14：30

講演者：修習技術者支援委員会委員 佐々 平和 氏

「修習技術者のための修習ガイドブック—技術士を目指して—第3版」について、特に、修習の目的や求められる資質・能力、基本修習課題として求められる資質・能力、修習の具体的実施方法など、第一次合格者・修習技術者のみならず、それらを指導する立場にいる技術士にとっても意義のある内容についての説明を行った。修習ガイドブック本編も全員に配布した。

3. 講義②「青年技術士交流委員会の紹介」

講演時間：14：30～14：50

講演者：青年技術士交流委員会前委員長 池谷 聖氏

日本技術士会四国本部の青年技術士交流委員会の活動目的や活動方針及び令和元年度に実施した様々な活動事例を紹介し、日本技術士会への入会と情報交流の場として開催事業への参加を促した。



佐々委員の講演



池谷前委員長の講演

4. 技術士第二次試験合格体験談

講演時間：15：00～16：00

講演者：

平成30年度二次試験合格者

応用建設部門 三谷 康博 氏

令和元年度二次試験（筆記）合格者

建設部門 藤本 耕次 氏（応用理学部門
技術士）

建設部門 橋爪 謙治 氏

3名の講演者のうち、三谷氏はJABEE課程修了後3年目に合格した若手技術者であり、短期の業務経験を経て合格に至った経緯について紹介して頂いた。また、藤本氏と橋爪氏の2名は令和元年度の筆記試験合格者で現在口頭試験の結果待ちの状況ではあるが、試験内容が大きく変わって初めての筆記試験合格に至るまでの対策、受験への取り組み方について紹介して頂くとともに継続的にモチベーションを維持していくことの重要性などメンタル面も含めて貴重なアドバイスを頂くなど、修習技術者として技術士を目指すことへの意識づけや準備のイメージづけができた。

4. 座談会「技術士の役割」

技術士と修習技術者及び一次試験合格者を3班に同数配分し、班ごとに対談する形で意見交換会を行った。技術士試験に向けての取り組むべき内容や計画は個人毎に異なっていることを踏まえ、今年度受験予定の修習技術者には具体的な受験方法や情報収集方法などについて具体的にアドバイスを行った。また、これから業務経験を積みながら修習課程を学んでいく方については、日々の業務の中でも常にガイドブックに沿った修習への取り組みの重要性を理解して頂いた。



座談会の様子